



氏名	若木 樹美
所属	工学部 機械工学科
学年	3年
留学先	SEP (マラヤ大学)
留学期間	2025/8/17~2025/9/7

留学レポート Study Abroad Report

・概要

私は、2025年8月17日~9月7日までの3週間、マレーシアのマラヤ大学で夏季短期プログラムの「Summer Enrichment Program (SEP)」に参加しました。このプログラムの特徴は2つあります。1つ目は、「バディ制度」です。この制度では、研修期間中、日本人4~5人につきマラヤ大学の大学生が1人ついてくれ、授業のサポートやフィールドトリップ、夜ご飯、ランドリーへの付き添いなどを行ってくれます。2つ目は、マレーシアの文化に直接触れ、学んだり体験したりできるようなプログラムが用意されていることです。授業に関しては、「English Learning Program (ELP)」と「Social Science and Humanities Immersion Program (SoSHIP)」の2つのコースに分かれています。ELPでは、Speaking・Writing・Listening・Readingの4技能の授業がありました。SoSHIPでは、英語で人文社会科学に関する6つほどの授業を受けているようでした。

私は、英語で学ぶための英語力がまだ十分ではなかったため、英語を学ぶELPに参加しました。

・平日のスケジュール (月曜日~金曜日)

7:45~ ホテルからマラヤ大学までバス移動
8:00~ 朝食
9:00~11:00 1コマ目の授業
11:30~13:30 2コマ目の授業
13:30~ 昼食
14:30~17:00 マレーシア伝統音楽 or ダンス練習/トリップ
17:00~ 自由時間

・休日

土曜日は、プログラム参加者全員でバスに乗りマラッカや田舎に出かけました。日曜日はバディやと出かけたり、班のメンバーと一緒に出かけたりしました。

・午前中の授業

日本の英語の授業の多くは座学が中心ですが、ELPの授業では先生の問いに対して答えたり、グループワークをしたりと主体的に行動する必要性がありました。全ての授業が英語で行われるため、私は時折先生の言っていることが分からないということもありました。しかし、マラヤ大学の現地学生であるバデ

イさんも一緒に授業を受けてくださっていたため、分からないことがあった際には、すぐに質問をするようにしていました。バディさんは分からない単語や先生の説明を簡単な英語に言い換えて、自分が理解できるまで丁寧に教えてくださいました。日にちを重ねるごとに、先生の英語を聞き取れるようになったり、発言できる回数も増えたことは、このプログラムを通して自分が成長できたと実感している部分です。

・午後の活動

日替わりで以下の活動を行いました。

○Traditional Dance か Traditional Music

クロージングセレモニーでの発表に向けて、ダンスか音楽かを選択し、一日当たり2時間プロの方から教えていただき、練習を重ねました。

○Trip

バディさんと一緒に観光施設に行きます。この Trip を通して、アラルンプルのすべての観光地に行ったのではないと思うほど、たくさんの場所に連れて行ってもらいました。ツインタワー、プトラモスク、バトゥ洞窟、国立博物館など、有名観光地にも案内してくれました。



・平日の午後や日曜日の自由時間の過ごし方

平日の午後には、バディさんに食べたいものを事前リクエストをして一緒に夜ご飯を食べることが多かったです。私はドリアンを一度食べてみたかったので、ドリアンを食べられる地域のナイトマーケットに連れて行ってもらい、実際に食べました。独特の匂いにはありましたが、クリーミーでとても甘く、おいしかったので、機会があればぜひ食べてみてほしいです。私は果物が好きで、日本から果物ナイフを持参していました。ホテル近くのスーパーでマンゴスチン、パパイヤ、ドラゴンフルーツ、グアバ、スネークフルーツ、スターフルーツ、マンゴー、ポメロ、ジャックフルーツなど、マレーシアならではの果物を購入し、班のみんなで楽しみました。日本より安価で、普段食べられないような果物をたくさん食べられました。

留学期間中の8月31日（日）はマレーシアの独立記念日であり、マレーシアの行政都市であるプトラジャヤでナショナル・ディ・パレードが開催されるとのことだったので、私はバディと一緒にパレードを観に行きました。また、地元の人がよく行く景色のきれいな公園に連れていってもらいサイクリングを楽しみました。



・困ったこと

マレーシアに到着して3日後、財布を盗まれたのか、落としたのかは不明ですが、無くしてしまいました。このことが起きてすぐに、保険の確認やマレーシアの交番に行きましたが財布に入っていたお金とお気に入りの財布は戻ってくることはありませんでした。交番にはバディさんにも付き添ってもらいました。財布を無くしたことはショックでしたが、「貴重品の管理は徹底しなければいけない」という教訓とトラブルに対応するという貴重な経験を得ることができました。

私は、日本でめったにお腹を壊すことはありませんが、疲れがたまっていた最終日の前日にお腹を壊してしまいました。多くの人が滞在中にお腹を痛めてたので、胃腸薬を持参していくことをお勧めします。

・プログラム費用以外にかかったお金

平日の夜ご飯代、交通費、お土産代、観光費用、その他諸々含めて約4万5千円ほど使いました。別途4千円ほど観光税をホテルにて支払う必要があります。

・意識していたこと

語学力をたくさん伸ばすことよりも、「異文化を理解すること」に重きを置いていました。このプログラムのは日本人が約100人ほど参加するため、日本語だけでも生活できてしまいます。大学内のバディさんだけでなく、大学外の地元のスーパーに来ている人、飲食店にいるお客さんとの会話を通して積極的に授業以外でも英語を使うことを心掛けました。

・感想

まずは、このプログラムに参加して本当に本当によかったなと思っています。3週間はあっという間に終わってしまいました。このプログラムで1番良かったなと感じていることは、普段交流することのない人と交流し、友達になれたことです。今でも同じ班になった日本人学生とマラヤ大学のバディさんとはSNSで連絡を取り続けています。留学中何度も伝えたいことが自分の英語力が低いために伝わらないということを通して、もっと英語力を高めたいと思うようになりました。そして、英語に対する向き合い方も変わり、英語学習に対するモチベーションが格段にあがりました。

トラブルがあってもバディさんが親身になって対応してくれたり、国際交流課の担当者さんにはたくさん支えてもらいました。留学が初めての人でも安心して参加できるプログラムだなと感じました。語学アップだけではなく、いろいろな人との繋がりや、異文化を肌で感じたり、3週間海外で過ごしてみたいという人におすすめのプログラムです！！